

第1学年英語科学習指導案

日時 平成30年1月26日(金) 14:00~14:50

場所 1年B組 教室

授業者 松浦 友里

ALT リカルド・ゴンザレス 支援員 野村 陽子

1 単元「Unit10」について

本単元は、咲のボストン旅行記が舞台である。ボストン到着後に咲がベーカー先生に書いた絵はがきの文面から始まる。ベーカー先生の友人 **Brown** さんにボストン市内を案内してもらい、旅先での生活や観光名所を、咲の目を通して生き生きと紹介している。また、咲がボストン美術館で日本の浮世絵と出会い、ボストンでも認められている日本のよさを再発見する。

そこで、本単元では、自分たちが住んでいる大野町のよさを考え、助動詞 **can** の新出言語材料を使ってそれを紹介する活動を終末の活動に位置づけた。

2020年、東京オリンピックの影響で、今後日本を訪れると予想される外国人観光客は増えていく。関東研修等でそういった人たちに出会い話す機会があった際に、自分たちの住む日本や町のよさを英語で話し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒にしていきたいと願っている。

2 生徒の実態

1年B組の生徒は、男女問わずインタビュー活動をしたり、楽しんで活動したりすることができる生徒が多い。面白いこと、楽しいことに意欲的に取り組むことができる。

しかし、「覚えること、書くことができないから英語は嫌い。」と英語をあきらめてしまう生徒も多くいる。決まりきった簡単な文章を話すことはできるが、自分で考えて話すこと(即興性に欠ける)に弱さが見られ、まとまった文章を書くことも苦手である。話したことが定着しない生徒が多い分、学力も2分化傾向にある。

そこで、**Unit6**では、ペアで家族紹介をし合い、相手の話す内容に関わって既習表現を最大限に活用して質問することや会話を広げるための一言を付け足すことのよさを指導してきた。そして**Unit7**では、即興性双方向性のあるコミュニケーション活動(リテリング)を取り入れ、既習表現を使って即座に言い換えたりして、話す活動と話した英文を最後に書く活動を位置づけてきた。

3 研究内容と本時との関連

(1) 研究内容Ⅰについて

咲の「わくわくする気持ち」を伝える表現の仕方を本文の根拠をもとに話し合う場(中間交流会)を設ける。「わくわくした気持ちを伝えられたのは、どうしてですか」と問い、その根拠を明確にし、「わくわくした気持ち」がより伝わる表現の仕方を考え話し合うことで論理的に筋道立てて話す力をつける。また、「こう言いたいけど言えなかった」という生徒を取り上げ、既習表現の活用や言い換えによって、より会話を豊かにしていくよさを感じ取らせる。

(2) 研究内容Ⅱについて

終末では、中間交流会によって、仲間のよい表現や新たに知った表現を取り入れ、自分にはない表現を取り入れて話すことが「できた」という自己肯定感の向上を図る。ペアでの評価活動を取り入れることで、中間交流会の前と後での表現の伸び(誰のどんな表現を取り入れて、豊かな会話になったか)を振り返ることができるようにする。また、仲間の表現を豊かにした生徒を価値付けることで、自分の表現のよさに気付かせ、自信をもたせる。

4 人権教育の視点から

- ・相手や場面、状況に応じた表現の仕方について適切な理解をする。(認識力)
- ・相手の気持ちや考えを尊重する態度を育む。(行動力)
- ・外国や自分の国の多様な見方や考え方、行動の仕方について共感的に理解する。(自己啓発力)
- ・相手の意向を正しく理解し、適切に応じようとする意欲をもつ。(自己啓発力)

T: Yesterday, I ate salt ramen for dinner. ALT: Oh, good.
 T: Do you like ramen? A: Yes. I like miso ramen.
 T: Oh I ate it at the Menkuiya. A: I'm sorry. I don't know Menkuiya. I like ramen the best out of all Chinese food.
 T: I often eat miso ramen there. I like ramen the best in Chinese food. It is delicious.
 How about you? What is your favorite Chinese food?
 Please talk about your favorite Chinese food.

Small talk

6 本時の目標

前時に読み取った咲のボストン旅行に対するわくわくする気持ちを伝えることができる。【話すこと (イ)】

7 本時の展開 (3 / 10)

段階	学習活動	●研究内容 I II	◆人権教育の観点
つかむ	1 帯活動 Small talk 2 Oral Interactive Introduction と前時の確認(input)を通して本時の課題を理解する。 Teacher: Where is Saki now? T: Do you know Boston? T: What is famous in Boston? T: Yes. Oh, Rick 先生 You are from America. Do you know any other about Boston? T: Boston burgers? Do you like hamburgers? Do you want to eat them? Me, too. I really want to eat big hamburgers. T: By the way, Where is Saki in Boston? Then what is Saki doing at the hotel? T: She is writing a letter to Ms. Baker. Why? Yes, Saki is so excited now !!! T: If you were Saki, who would you want to tell your feelings? T: OK. Then let's tell your friends about your feelings.	●研究内容 I II ◆人権教育の観点 ・「中華料理で一番好きなもの」の話題で2分間の会話をする。リテリングにつながる delicious, great, Do you like~? などの表現を引き出すようにする。 Students: Boston! America. S: A little.. S: Hamburgers, Boston Red Sox...and so on. ALT: Yes, I do. Boston Museum, you can see beautiful pictures. Boston Common. You can skate. Boston burgers. You can eat delicious hamburgers. S: Yes, I do. S: Hotel. S: writing a letter. Reading an English book. S: Because she cannot sleep. She is so excited. S: Friends.	
	Today's aim 咲になって、わくわくする気持ちを友達に伝えよう。	・OII で写真を示したり、□のキーワードを板書したりする。 ・生徒を巻き込みながら会話を導入することで本時の課題に主体的に取り組ませる。	
深める	4 本文の音読練習を咲の気持ちになって行う。(input) 5 retelling (前半) をする。(output) 咲になってキーワードを使いながら、わくわくする気持ちを咲の友達に伝える。本文中の根拠をもとにどのような表現を使うとわくわくする気持ちを伝えられるかを考えながら話す。 Bペア→Aペア(口頭評価)→中間交流→Bペア→Aペア(口頭評価) 【前半の予想される会話】 Saki: Hi,○○. S: I am in Boston. S: I am so excited. S: I like Boston. Thank you	・ALT と読む、座って読む、立って読む、咲になりきって読めたら座る。 Saki's friends: Hi, Saki. F: Oh. Boston. F: I see. You are so excited. F: Good.	◆ペア交流において、相手が伝えたいことを正しく理解し、根拠をもとに即興的に適切に応じようとする意欲をもつことができるようにする。(自己啓発力)
	6 【中間交流会】 ボストンの食べ物を食べたい・知りたい。～できる。などの表現を加える。	●「こう言いたかったけど何とっていいか分からなくて言えなかったを引き出す。」 I want to eat (know) Boston food. I want to see Boston Red Sox.	
	7 retelling (後半) を行う。 前半Aペアの会話と後半Aペアの会話を比べて伸びをペアで口頭評価をし合う。【中間交流後の予想される会話】	●自分なりに表現を付け加えて咲の気持ちを伝えようとしたり、ボストンでやってみたいことをプラスして表現したりすることのよさを価値付ける。 ●場面・状況・心情を捉えて相手に合わせて話すことで「即興性・双方向性」を生み出す。	
	Saki: Hi,○○. S: I am in Boston with my family now. S: Yes. My brother is sleeping. But I can't sleep. S: Because I am so excited. I am very happy. S: So I am reading an English book about Boston. S: I want to eat Boston food. S: Yes! I can eat delicious hamburgers. S: I like Boston. Thank you	Saki's friends: Hi, Saki. F: Oh. Nice. America? F: Why? F: I see. You are so excited. F: Good. What do you want to do there? F: Do you like hamburgers? F: Good. I want to go to Boston, too. F: Boston is nice. Have a good time!	
	S: I want to watch baseball games. And I want to meet Boston Red Sox players. S: Yes! I do. I can play baseball. S: I like Boston. Thank you	F: Good. What do you want to do there? F: Do you like baseball? F: Good. I want to play baseball in America, too. F: Boston is nice. Have a good time!	
	S: I want to see beautiful pictures in Boston Museum. And I want to take Boston pictures. S: I do. I can show you them. S: I like Boston. Thank you	F: Good. What do you want to do there? F: Good. I want to see them. F: Boston is nice. Have a good time!	
	S: I want to skate in Boston Common. And I want to practice it very hard. S: I can sky, too. S: I like Boston. Thank you	F: Good. What do you want to do there? F: Good. I want to it. F: Boston is nice. Have a good time!	
まとめ	8 個人振り返り(口頭)をする ・ボストンでやりたいこと、できることを伝えるとよりわくわくする気持ちが伝わると分かった。 ・○○さんが言っていた文を使って違う単語で言い換えて言えた。	【評価規準】 interesting や can~, want to~ など、感想やできること、したいことを加えてわくわくする気持ちを伝えることができる。話すこと (イ)	